

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11) 特許番号

第2845183号

(45) 発行日 平成11年(1999) 1月13日

(24) 登録日 平成10年(1998)10月30日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

P I

H 0 1 J 11/02
11/00

H 0 1 J 11/02
11/00

B
K

請求項の数3 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平7-272461
(62) 分割の表示 特願昭33-304509の分割
(22) 出願日 昭和63年(1988)11月30日

(65) 公開番号 特開平8-102261
(43) 公開日 平成8年(1996)4月16日
審査請求日 平成7年(1995)10月23日

(73) 特許権者 000005223
富士通株式会社
神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1
番1号
(72) 発明者 爾部 利之
神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地
富士通株式会社内
(72) 発明者 篠田 ▲伝▼
神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地
富士通株式会社内
(74) 代理人 弁理士 井桁 貞一

審査官 小川 浩史

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ガス放電パネル

1

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ガス放電空間を介して対向する少なくとも
も片方が透明な一方の基板上に、維持放電を発生する放
電維持電極対と、該放電維持電極対と対向して書き込み放
電を発生する書き込み電極とを備える3電極面放電型のカ
ラー表示用パネル構成において、
観察面側に位置する前記透明な一方の基板上に前記放電
維持電極対を配設し背面側に位置する前記他方の基板上
に、前記放電維持電極対間の放電により発光する蛍光体

2

板を通して観察し得るようにしたことを特徴とするガス
放電パネル。

【請求項2】 前記電極引き出し用金属材料層は、放電
維持電極対の面放電間隙から離れた電極側縁部に設けら
れていることを特徴とする請求項1記載のガス放電パネ
ル。

【請求項3】 前記放電維持電極対を構成する透明導電
膜は、相互に近接対向する突起部を有し、その近接対向
する突起部により放電維持セルが構成されることを特徴